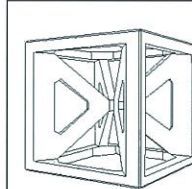


3. ズワイガニを守るために

底びき網漁業にとってズワイガニは重要な漁獲対象種です。ただ漁獲するだけでは資源が減少してしまうことを、漁業者はよく知っています。

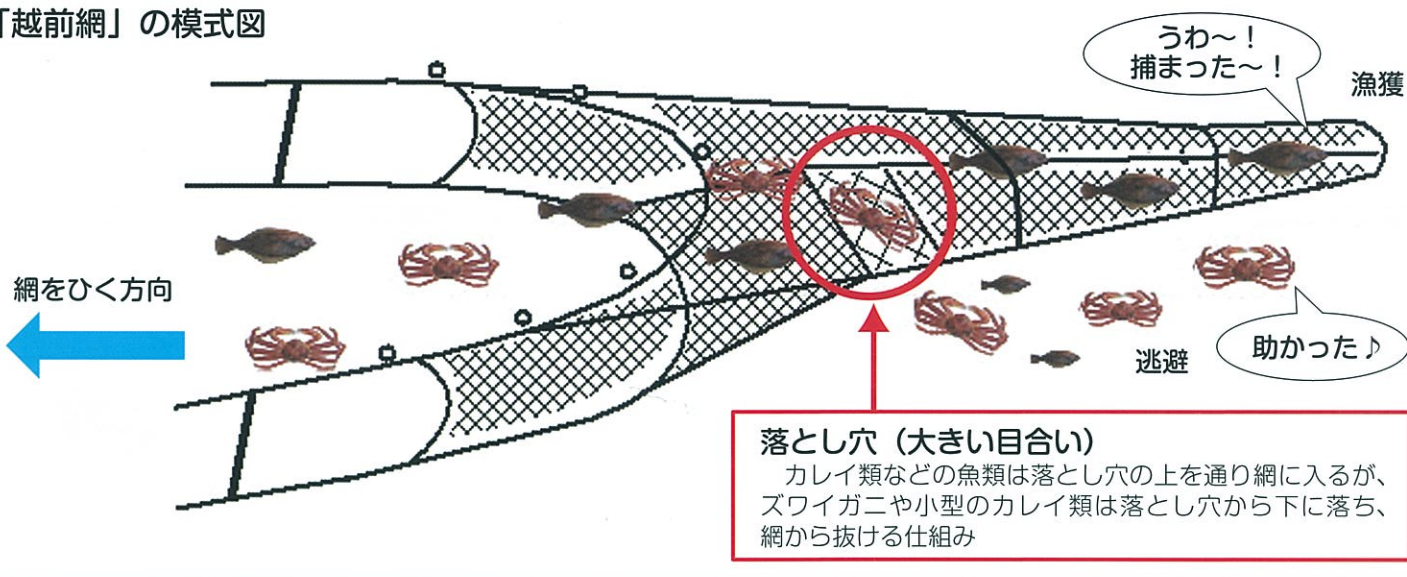
ここでは漁業者が実践している資源保護の取り組みの一部を紹介します。

- ① 水深220～350mの海域（ズワイガニ主漁場の大部分）は、ズワイガニ漁期以外（3月21日～11月5日）は操業しない
- ② コンクリート製の「保護礁」を設置（2014年9月末現在9カ所）
- ③ 甲幅100mm未満のミズガニ（脱皮直後の甲羅が柔らかいオスガニ）は漁獲禁止
- ④ ミズガニ漁期は2月1日～3月12日まで
- ⑤ セイコガニ漁期を20日間短縮（12月31日終了）
- ⑥ ズワイガニ漁期以外では、ズワイガニを逃がし魚だけを漁獲するための「越前網」を使用



「保護礁」
 ・1辺の長さが3.25mの立方体
 ・保護区1カ所に、90～200個程度沈設
 ・保護区周辺は操業禁止

「越前網」の模式図



紹介した取り組み以外にも、1回の操業で市場に水揚げできる尾数の制限や、卵を産んだばかりのセイコガニ（アカコ）の漁獲禁止などの決まりを守っています。

ズワイガニを食べる時は、漁業者が一生懸命守ってきたズワイガニなのだということを思い出してください。

豆知識

「越前網」は1998年から開発に関する試験を開始しました。越前町の底びき網漁業者と水産試験場と水産業普及指導員が協力して試験を何度も繰り返し、落とし穴となる目合いの大きさや場所を決定し、2001年によく基本形が完成しました。

その基本形を基に、漁業者は自分の船の能力に合う形にアレンジし、現在ではほとんどの底びき網漁業者が「越前網」を使っています。

「越前網」はズワイガニを逃がすことができるだけでなく、小型のアカガレイも逃がすことができるため、資源にやさしい漁具だという水産庁の高い評価を得て、福井県以外でも積極的に使用されています。

さらに「越前網」は、クモヒトデなどの漁獲対象にならないものも一緒に抜けていくため、網に残ったカレイ類の姿が綺麗で活きもよく、漁獲物の仕分けにかかる時間も短縮されるというメリットがあります。



このパンフレットに関する問い合わせ先

福井県漁業協同組合連合会（JF福井漁連）
 〒910-0005 福井県福井市大手2丁目8番10号
 TEL (0776) 24-1203(代)
 FAX (0776) 27-5432
<http://homepage3.nifty.com/jf-fukui/>
 e-mail : gyoren@mb.infoweb.ne.jp

福井県農林水産部水産課
 〒910-8580 福井市大手3丁目17-1
 TEL (0776) 20-0436
 FAX (0776) 20-0653
<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/suisan/index.html>
 e-mail : suisan@pref.fukui.lg.jp

福井県水産試験場
 〒914-0843 福井県敦賀市浦底23-1
 TEL (0770) 26-1331
 FAX (0770) 26-1379
<http://www.fklab.fukui.fukui.jp/ss/>
 e-mail : fk_suishi@kvp.biglobe.ne.jp